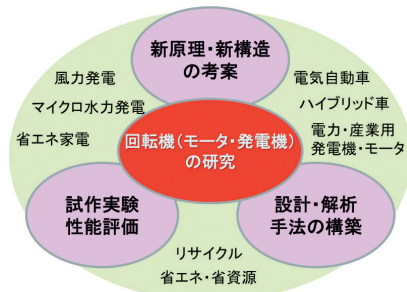


電気自動車や風力発電などの開発に役立つ 新しい回転機の研究

回転機は、電気・機械エネルギー変換を、高密度、高効率で実現でき、社会基盤を支えるキーデバイスとして電力、産業、交通、家電などの幅広い分野で利用されている。特に、CO₂削減などで注目の電気自動車や風力発電などに用いられる回転機は、まだまだ発展途上にある。

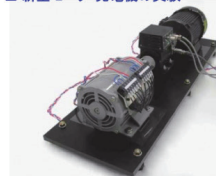
研究室では、永久磁石（レアアース磁石）を使わない、あるいは減らすことのできる電気自動車/ハイブリッド車駆動用モータや、増速ギアの要らない多極発電機などの新しい回転機の開発をコンピュータと実験により行っている。



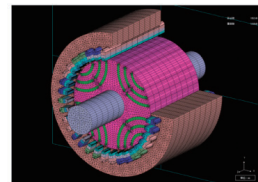
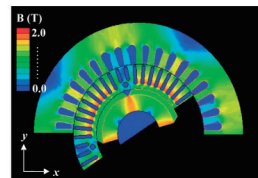
■ 新型モータ・発電機の試作品



■ 新型モータ・発電機の実験



■ 新型モータ・発電機のコンピュータ解析



社会基盤を支える回転機技術の発展に貢献したいと考えています。お気軽にお問い合わせください。



深見 正 教授

学部：工学部 学科：電気電子工学科
所属研究所：電気・光・エネルギー応用研究センター
工学博士。三菱電機(株)中央研究所を経て、平成4年本学助手就任。講師、助教授を経て、平成16年現職。

Keyword

モ/を動かすモータ / 電気をつくる発電機 / 電気自動車 / ハイブリッド車 / 風力発電